

町予算の執行状況

平成30年度上半期 (平成30年9月30日現在)

歳入 収入済額 14億2,719万7千円 〈現年度分〉 13億8,867万2千円
 〈繰越明許費〉 3,852万5千円

歳入科目		予算額	収入済額	収入率	
現年度分	自主財源	町税	1億7,216万3千円	1億2,679万8千円	73.65%
		分担金及び負担金	1,986万4千円	490万5千円	24.69%
		使用料及び手数料	4,121万3千円	1,869万3千円	45.36%
		その他	3億7,193万8千円	1億967万4千円	29.49%
		計	6億517万8千円	2億6,007万0千円	42.97%
	依存財源	地方交付税	15億7,700万0千円	10億6,416万8千円	67.48%
		国・道支出金	3億4,614万2千円	3,343万1千円	9.66%
		町債	3億4,070万0千円	0円	0.00%
		その他	6,245万0千円	3,100万3千円	49.64%
		計	23億2,629万2千円	11億2,860万2千円	48.52%
小計		29億3,147万0千円	13億8,867万2千円	47.37%	
繰越明許費		4億401万7千円	3,852万5千円	9.54%	
合計		33億3,548万7千円	14億2,719万7千円	42.79%	

歳出 支出済額 9億5,865万3千円 〈現年度分〉 9億1,960万2千円
 〈繰越明許費〉 3,905万1千円

歳出科目		予算額	支出済額	執行率
現年度分	議会費	6,130万0千円	3,018万7千円	49.24%
	総務費	8億6,779万7千円	1億7,311万3千円	19.95%
	民生費	4億2,197万7千円	1億7,341万0千円	41.09%
	衛生費	1億5,374万2千円	4,570万4千円	29.73%
	労働費	1,041万6千円	354万9千円	34.07%
	農林水産業費	2億403万4千円	5,357万2千円	26.26%
	商工費	8,978万1千円	4,734万4千円	52.73%
	土木費	3億7,857万7千円	5,724万6千円	15.12%
	消防費	1億8,977万4千円	1億377万4千円	54.68%
	教育費	2億1,300万1千円	7,576万5千円	35.57%
	災害復旧費	11万5千円	5千円	4.35%
	公債費	3億3,935万6千円	1億5,593万3千円	45.95%
	諸支出金	60万0千円	0円	0.00%
	予備費	100万0千円	0円	0.00%
小計		29億3,147万0千円	9億1,960万2千円	31.37%
繰越明許費		4億401万7千円	3,905万1千円	9.67%
合計		33億3,548万7千円	9億5,865万3千円	28.74%

平成30年度上半期(4月1日～9月30日)の町予算の執行状況をお知らせします。
 税金や国・道からの交付金などの出入りについて、町の財政状況を理解してもらうために公表するものです。

特別会計

特定の事業を行うため、一般会計の歳入・歳出と区分して経理するための会計です。

会計別	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
簡易水道事業	2億7,352万7千円	2,189万9千円	8.01%	5,079万7千円	18.57%	
国民健康保険事業	事業勘定	1億4,191万5千円	3,630万1千円	25.58%	8,616万8千円	60.72%
	直診勘定	7,577万6千円	1,129万3千円	14.90%	3,290万7千円	43.43%
下水道事業	5,694万6千円	498万0千円	8.75%	1,590万1千円	27.92%	
介護福祉サービス事業	4,707万8千円	570万6千円	12.12%	1,948万3千円	41.38%	
産業交流雇用対策推進事業	1億3,108万6千円	4,984万4千円	38.02%	4,851万6千円	37.01%	
後期高齢者医療	4,083万4千円	1,156万1千円	28.31%	1,189万8千円	29.14%	
合計	7億6,716万2千円	1億4,158万4千円	18.46%	2億6,567万0千円	34.63%	

まちの日記帳



歓声に包まれて 保育所生活発表会

11/17

12/9

びくに保育所で41回目、みなと保育所で24回目の生活発表会が11月17日、12月9日にそれぞれ行われました。

日頃の園内での生活の一部を披露する生活発表会には、お父さんやお母さん、地域の皆さんなど多くの観客が訪れ、園児たちは緊張しながらも遊戯や劇、合唱など一人ひとりが毎日の練習の成果を出し切っていました。

会場では、園児たちに温かい拍手や声援が送られ、わが子の成長に顔をほころばせていました。



◀びくに保育所（11月17日）



▶みなと保育所（12月9日）

“やすらぎ”へ楽しい時間をお届け 美国婦人会・びくに保育所園児が慰問

12/4

12/5

美国婦人会（魚屋友子会長）と、びくに保育所園児による「やすらぎ」への慰問が2日間の日程で行われ、同施設入居者とデイサービス利用者が歌や踊りを楽しみました。

施設利用者の皆さんは、毎年行われる慰問活動を楽しみにしており、園児たちによる可愛い遊戯と婦人会の皆さんによる歌や舞踊が披露され、会場は手拍子を打ったり、時には声援を送ったりと、一体となって盛り上がりました。



心の悩みを受け止める やさしい介護教室

12/13

やさしい介護教室が総合文化センターで行われ、9名が参加しました。

午前は介護者に対する個別カウンセリングを行い、午後は、札幌カウンセリング学習センターの若狭恵美子さんを講師に招き、「人間関係の中で健康を保つには」というテーマでの講演がありました。

講演では、介護を続ける家族の人間関係や、社会における一個人としての人間関係についても触れました。ストレスを抱え、気持ちがいっぱいになり、周りの話を聞く余力がなくなる時は、相手のそばにいてあげること、話を聞いてあげることの大切さについて学びました。



牛乳を使った料理を楽しむ

乳和食づくり体験

12/13

放課後子ども教室の活動の一環として「乳和食づくり体験」が総合文化センターで行われ、15名の児童が参加しました。

北海道乳業協会乳和食推進リーダーの宮田かよ子さん（古平町）の指導のもと、「ミルクカレー」や「牛乳もち」、乳清を使った「白菜の浅漬け」などを作りました。

子どもたちは、「牛乳を使っているという感じがなくて、おいしい。」と、自分たちが作った料理を喜んで食べていました。



“積丹の風景”傑作が集う

第30回積丹観光フォトコンテスト

12/13

積丹観光協会主催の『第30回積丹観光フォトコンテスト』の審査が、審査委員長に久保田亜矢氏（全日本写真協会会員）を迎えて行われ、応募総数241点の中から、30周年記念特別賞1点、準グランプリ2点を含む4賞27作品が選ばれました。グランプリ作品は無かったものの、審査委員の皆さんはレベルの高い応募作品を一枚一枚じっくり審査していました。

今回は「積丹の四季」部門、「あなたの思い出に残る積丹の風景」部門の2部門で行われ、道内外の多くの方々から応募いただきました。魅力溢れる風景を写した作品は、3月12日に札幌地下歩行空間で展示される予定です。



▲ 30周年記念特別賞「渚の夕日」

嵯峨秋雄さん（小樽市）

見て・聞いて・踊って楽しむ

人形劇団「ひよっこ」による人形劇

12/17

人形劇団「ひよっこ」（札幌市・木田橋くに子代表）の人形劇が、びくに保育所で行われ、みなと保育所・子育て支援センターの子どもたちも一緒に人形劇を楽しみました。

人形劇では、かわいい動物が出てきたり、みんなで楽しくお話を聞いたりしたほか、「南の島のハメハメハ」の人形劇では、みんなで人形を持って踊ったりしながら、楽しい時間を過ごしました。

